



KOURAKUEN
HOLDINGS



平成 28 年 10 月 26 日

各 位

会 社 名	株式会社 幸楽苑ホールディングス
代表者の役職名	代表取締役社長 新井田 傳
(東証第一部	コード番号 <u>7 5 5 4</u>)
問い合わせ先	専務取締役 武田 典久
T E L	0 2 4 - 9 4 3 - 3 3 5 1
	http://www.kourakuen.co.jp/

外部専門家を含む「再発防止対策委員会」設置に関するお知らせ

平成 28 年 10 月 17 日付の「幸楽苑 静岡清水インター店」における異物混入報道に関するお知らせ」でお知らせしましたとおり、異物が混入した商品をお客様に提供してしまうという事案が発生しました。お客様をはじめ関係者の皆様に、多大なご迷惑とご心配をおかけいたしましたこと、改めて深くお詫び申し上げます。

当社は本事案の再発を防止するために、以下の緊急措置を講じてまいりました。

1. 本事案の経緯及び事実関係の調査
2. 異物混入の再発を防止するための緊急対策の実施
 - ・本事案の直接的な原因となったチャーシュースライサーの全店舗からの撤去
 - ・緊急店長会議を開催、全店舗の店長に対し、当社代表取締役社長による経営理念の再確認を行うとともに、外部専門家による危機管理の基本の研修、店舗の清掃・衛生管理についての研修を実施

また、平成 28 年 10 月 27 日、一部の商業施設内店舗を除く全店舗を休業し、従業員に対する、当社の経営理念、危機管理、及び店舗の清掃・衛生管理に関するトレーニングと、店舗内の清掃、調理器具の一斉点検を実施いたします。

さらに当社は、本事案の根本的な原因の分析と実効性のある再発防止策の策定及び実行を目的として、外部の専門家を含む再発防止対策委員会を下記のとおり設置いたします。

記

1. 再発防止対策委員会のメンバー

委員 長	当社常務取締役 経営管理本部長 新井田 昇
副委員 長	PwC ビジネスアシュアランス合同会社 パートナー 公認会計士 丸山 琢永

このほかに、委員として外部専門家が参画。

2. 取り組み内容

- ・本事案の根本的な原因の解明
- ・実効性の高い再発防止策の策定と迅速に実行するための体制整備
- ・お客様をはじめとする多様なステークホルダーの利益を考えた迅速かつ的確な情報開示体制の整備・運用

3. 今後の対応

本事案の根本的な原因及び再発防止策については、再発防止対策委員会からの答申を受けて、内容が具体化したタイミングで改めて皆様にご報告申し上げます。

当社は、食の安全を何よりも重要なこととしてお客様が安心できる商品の提供に全社を挙げて全力で取り組んでまいります。

以 上